



ゆうと 優翔さん (市内在学)

ところざわ学生映画祭実行委を務めるほか、役者としても
 員長。早稲田大学人間科学部 映画に関わる。3年間で20本
 4年生。映画サークルで監督 以上の作品に携わってきた。

所沢に「100年続く学生映画祭」を創りたい

平成27年に産声を上げた「ところざわ学生映画祭」。2年連続の実行委員長として、手作りの映画祭の舵を取るのが村松さんです。

memo

- ◆ 第2回ところざわ学生映画祭
- 📅 5月8日(日)午前10時30分～
- 📍 西武所沢店8階ワルツホール
- 👤 定先着150人 (入退場自由)

企画・運営・広報まで、ほとんどを市内在学の学生が担います。前回は第1回にも関わらず超満員の約200人を集めました。

きっかけは日本大学芸術学部の学生と所沢の情報発信サイト「とこなび」運営者が学祭に撮影に来たこと。「大学間で切磋琢磨したらおもしろい」と始めました。準備期間があまり取れなかったため、第1回は撮りためていた作品を上映。今回は、映画祭用に撮った作品でのコンペとなり、さらに熱が入ります。

公募の予選会を開催したところ、全国から40作品以上が集まりました。外部の視点も入れた厳しい審査を勝ち抜いた11作品を当日上映します。「誰もが楽しめるバランスの取れた構成になっています。1日でこれだけ幅広いジャンルの映画を観ることはないと思います」。

今回は市内の芸術総合高校も参加。さらなる若いパワーに注目です。学生

映画のおもしろさは、制作意図がダイレクトに伝わってくる。商業映画のようにスポンサーやキャストのしがらみがないため、「とがった作品」が作りやすいのです。従来の映画鑑賞を超える体験が待っています。

「所沢は映画に理解があるまち。市がロケーションサービスに力を入れていたり、ロケ中にまちの人から声をかけていただいたり、居心地がいいんです」。上映作品に“所沢”が感じられる作品が多いのもうなずけます。

「まだ所沢に色はついていないと思います。これから5年、10年をかけて『所沢といえば学生映画祭』といわれるように色をつけられたらいいですね。地元の方に愛され、誇れるものになって、ミュージズの大ホールが大歓声に包まれる。そんな100年続く映画祭を創りたいです」。

メディア業界で活躍を夢見る村松さんの目は、所沢の未来を見据えています。5年後、10年後に「世界のムラマツ」として映画祭に戻ってくる—そんな映画のようなストーリーを期待したくなりました。(取材：鹿島)

スマホをかざすと
 予告編が見られます！
 市📍(QR)



今月のプレゼントクイズ！

狭山茶の老舗がオススメする
新茶“さやま”100g (2,000円相当・15人)

八十八夜ごろに摘み採った良質な新芽だけを使って丁寧に仕上げた高級茶です。

新鮮な香りと濃厚なうま味の中に、しっとりとしたわずかな渋みがあるのが特徴。

「今年は生育環境が良く、たっぷり甘みを含んでいます」



小手指本店はカフェ併設

- 店舗
 (株)新井園本店 小手指本店
 小手指町1-15-5
 ☎2941-3399
- ◎ プレゼントは小手指本店・三ヶ島工場直売店の2店舗で引き換え可能です。

◆ 今月のクイズ

9・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆ 応募方法

5月15日(日) (消印有効) までに、①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦5月号の感想を記入し、〒359-8501広報課に郵送・✉hiroba@city.tokorozawa.lg.jpにメール・市📍(QRプレゼント)で応募

◎ 当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



メール



市📍

読者感想文

- ・ 広報紙のリニューアル楽しみにしています！
- ・ 紙面がどのように変わるのか楽しみにしています。
- ・ いろいろな企画が始まり、ワクワクしています！
- あつしおりさん ほか
 編集から ● 4面でご案内のとおり、「読んでうれしい広報紙」を目指してリニューアルしました。ぜひ、感想をお聴かせください。今後も皆さんと一緒に広報紙を作り上げていきます！

- ・ 地域情報がとても役立っています。
- ・ 市内のステキな場所やイベントをもっと知りたいです！
- ミラクルキッズさん ほか

編集から ● 広報紙の情報が役立ってうれしいです。これからも所沢の魅力をお伝えしていきます！
 新連載の「とことこロケ地の旅」(9面)は、市内で撮影が行われたテレビやCMなどのロケ地をご紹介します。お楽しみに♪

- ・ 子どもがいるので、休日の病院情報はありがたいです。
- ・ ママのけがのときも連絡先が分かって助かりました！
- なみっちさん ほか
 編集から ● 休日急患当番医は緊急時にもパッと見つかるよう、裏表紙(16面)に掲載しています。読み終わっても、手の届くところに保管しておくといいかもしれませんね。

編集後記

桜の季節は出会いと別れ。広報課のメンバーも半分近く入れ替わりました。先人の思いを引き継ぎながら、新しいものを生み出す。言葉にすれば簡単ですが、リニューアルは想像以上に大変でした。多くの方のご協力で5月号が発行できました。ありがとうございました！(鹿島)



リニューアルと時を同じくして、新たに担当となりました。ベテラン編集員だった先輩にはなかなか追いつけません。情報とともに多くの想いを自分らしくお伝えできるよう、頑張ります。(加賀谷)
 担当になって丸1年。最善を尽くしても改善点が見つかる毎日です。一人でも多くの方に「よくなったね!」と言ってもらえるよう一歩ずつ前進していきますので、よろしくお願いします!(佐々木)